優良賞

夢を諦めない

国　　籍	インドネシア
職　　種	塗装
実習実施者	株式会社浅野歯車九州
監理団体	公益社団法人日本・インドネシア経済協力事業協会

アグス　サリム
AGUS SALIM

私が生まれた家は貧しく苦しい生活をしていました。2016年に中学を卒業した私は、地元で有名な高校に進学したいと思いました。でも両親から反対されました。なぜなら、そこは遠くて通うことができず下宿をしなければならなかったからです。しかし、私は両親に何度もお願いし進学を許してもらいました。その時、私は心に誓いました。苦しい生活を送る両親を楽にしてあげたい喜ばせたいと。入学して私は懸命に頑張り、500人中１位になりました。そして、大学に行たいと思うようになりました。

人は誰でも夢を持つと思います。しかし、夢は必ず叶うとは限らず、簡単に叶うものでもないと思います。多くの人々が自分の実力や周りの状況で夢を諦めようとしてしまうかもしれません。私も何度も諦めかけましたが、ある言葉が私を変えてくれました。それは「人の夢は電車のようなものだ」と言う言葉です。これは一台の電車が過ぎ去った後に次の電車が来るように、人は一定の時間が経つと別の思いや夢が生まれると言うことです。最初は大学に行くことが夢でしたが、今では通訳者になりたいと思っています。通訳者になることが今の夢なのです。

日本に来る前、日本語学校で一生懸命に勉強しました。そこで、たくさん友達ができました。私もそうでしたが、ほとんどの人は家族の生活を助けるためや両親の借金を払うために日本で働くと言っていました。実際は、家族と離れてお金だけのために遠く離れた日本に行くことに自信をなくし、日本で働くことを諦めた友達がたくさんいました。しかし、私は日本で頑張れると考えたのです。日本に来たからには長く日本で働くために日本語の能力を高める必要があります。そうして、通訳者になればいい仕事が見つかると考えています。でも簡単ではないし時間がかかります。今も一生懸命に日本語を勉張していますが、時々、勉張したくなります。そんな時、家族を喜ばせること、夢を叶えることを思い直します。

インドネシアから遠く離れれば離れるほど故郷を思い出し、長くなればなるほど故郷に帰りたくなります。家族や幼なじみや子供時代を思い出すと、すぐにでも帰りたくなります。しかし、夢と言う目標を達成するためにはしなければならないことがまだ沢山あります。今一番大切なことは仕事でも勉強でも、昨日より今日、今日より明日がよくなるようにすることです。どれだけ家族と離れていても、どれだけ疲れていても努力することです。努力は結果を裏切ることはありません。努力には必ず疲れや諦めが伴いますが、目標を達成できる人は社会的な地位などで決まるのではなく、一歩一歩努力し諦めない人なのです。ですから、私も諦めずに一歩一歩努力し続けます。